

令和3年4月30日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 豆田 正 明



令和2年度 赤穂市立海洋科学館の事業報告について

赤穂市立海洋科学館指定管理者管理運営基準に基づき、令和2年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



海洋科学館（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

開館日数 270日

常 設 展				特 別 展			合 計		
区 分	入館料 (円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料 (円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	
個 人	大 人 200	5,096	1,019,200	大 人 300	992	297,600	6,088	1,316,800	
	小中学生 100	1,363	136,300	小中学生 150	346	51,900	1,709	188,200	
団 体	30人以上	大 人 160 小中学生 80	3,399 1,268	543,840 101,440	大 人 240 小中学生 120	513 216	123,120 25,920	3,912 1,484	666,960 127,360
	100人以上	大 人 120 小中学生 60	125 7,500	7,500	大 人 180 小中学生 90			125	7,500
減 価	個人 50%	大 人 100 小中学生 50	258 73	25,800 3,650	大 人 150 小中学生 75	39 8	5,850 600	297 81	31,650 4,250
	団 体	30人以上50%	大 人 80 小中学生 40	2 80	大 人 120 小中学生 60			2	80
免 費	100人以上50%	大 人 60 小中学生 30			大 人 90 小中学生 45				
	100%	大 人 小中学生	927 1,669		大 人 小中学生	54 332		981 2,001	
特別利用券利用者	大 人 小中学生			大 人 小中学生	34		34		
赤穂観光パスポート	通りゃんせ		(@120×80) 39	9,600	通りゃんせ	3		42	9,600
Go TOトラベル 地域共通クーポン	大 人	22	4,860				22	4,860	
	小中学生	4	400				4	400	
合 計	大 人	9,741	1,603,300	大 人	1,635	426,570	11,376	2,029,870	
	小中学生	4,504	249,370	小中学生	902	78,420	5,406	327,790	
	計	14,245	1,852,670	計	2,537	504,990	16,782	2,357,660	

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/9～5/20まで臨時休館。赤穂観光パスポートの入館料収入は、常設展にまとめて計上。)

特別展、企画展等の開催

海洋科学館

特別展

期 間 令和2年8月8日(土)～8月31日(月)  
名 称 「ひとつずつちがう昆虫たち」  
内 容 赤穂海浜公園に生息する昆虫をはじめ、世界・日本の珍しい昆虫を展示  
入館者数 2,537人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業

探鳥会

科学館の指導普及事業

(1) 運営協力会の開催

委員数 15名  
開催日 第1回 令和2年5月23日(土)  
第2回 令和2年7月4日(土)  
第3回 令和2年11月14日(土)  
第4回 令和3年3月20日(土)

(2) 科学教室の開催

名 称 「子ども科学教室」  
内 容

	テ ー マ	開 催 日 時
第1回	ミクロの世界	8月1日(土) 9:00～12:00
第2回	豆腐で科学する	9月12日(土) 9:00～12:00
第3回	天体観測	10月24日(土) 17:30～20:30
第4回	身近な自然観察	11月14日(土) 9:00～12:00
第5回	バードウォッチング	1月16日(土) 9:00～12:00
第6回	電池とラジオ	3月20日(土) 9:00～12:00

指導者 海洋科学館運営協力会委員外  
参加者 市内小学4年生～6年生 20名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業

夏屋台実験教室

子ども科学教室(施設見学)

赤穂市立海洋科学館の管理運営に関する業務の収支決算書  
(令和2年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
海洋科学館管理収入	17,840,000	17,154,208	685,792	海洋科学館管理収入
補助金収入(事業補助金収入)	24,000	24,000	0	文化庁 文化芸術振興費補助金 (文化施設の感染防止対策事業)
施設利用料収入	2,354,000	2,357,660	△ 3,660	施設利用料収入
合 計	20,218,000	19,535,868	682,132	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	11,232,000	11,229,774	2,226	職員給 4人
福利厚生費支出	2,060,000	1,815,608	244,392	社会保険料外
小 計	13,292,000	13,045,382	246,618	
物件費				
旅費交通費支出	23,000	6,860	16,140	旅費
消耗品費支出	304,000	298,476	5,524	特別展消耗品外
燃料費支出	56,000	31,849	24,151	ガソリン代
会議費支出	7,000	4,583	2,417	来客賄
印刷製本費支出	359,000	358,750	250	特別展ポスター印刷外
光熱水費支出	1,950,000	1,903,490	46,510	電気代外
修繕費支出	449,000	430,430	18,570	空調機修繕外
飼料費支出	22,000	21,377	623	展示用魚餌代
通信運搬費支出	162,000	134,657	27,343	電話料外
保険料支出	67,000	54,310	12,690	自動車損害保険料外
委託料支出	2,666,000	2,476,374	189,626	清掃管理業務委託 1,061,478 展示備品管理業務委託 486,200 建物管理業務委託外 928,696
使用料賃借料支出	809,000	736,604	72,396	複写機使用料外
消耗什器備品費支出	28,000	10,890	17,110	事務備品
負担金支出	20,000	20,000	0	県博物館協会負担金外
雑費支出	4,000	1,836	2,164	諸雑費
小 計	6,926,000	6,490,486	435,514	
合 計	20,218,000	19,535,868	682,132	

赤穂市立海洋科学館指定管理者自主事業収支決算書  
(令和2年度分)

(単位:円)

収入

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館指導普及事業収入	140,000	20,000	120,000	子ども科学教室参加負担金
赤穂市補助金収入	730,000	442,643	287,357	科学館指導普及事業補助金
合 計	870,000	462,643	407,357	

支出

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館普及啓発事業費				運営協力会事業 158,356 子ども科学教室事業 304,287
旅費交通費支出	36,000	0	36,000	
消耗品費支出	188,000	187,828	172	教材外
会議費支出	70,000	38,784	31,216	ボランティア賄外
印刷製本費支出	16,000	14,000	2,000	子ども科学教室記録写真プリント代
通信運搬費支出	19,000	10,881	8,119	郵便料
保険料支出	29,000	6,150	22,850	ボランティア保険料外
委託料支出	163,000	0	163,000	
使用料賃借料支出	99,000	0	99,000	
諸謝金支出	250,000	205,000	45,000	講師謝礼外
合 計	870,000	462,643	407,357	

## 令和2年度 指定管理者管理運営事業評価シート

### 1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立海洋科学館				
所在地	赤穂市御崎1891番地4				
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団	指定期間	開始日	平成30年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地		終了日	令和3年3月31日
選定方法	公 募 ・ 非公募		評価実施年	指定期間3年のうち3年目	
施設設置目的	海洋科学に関する知識の普及及び啓発を図り、市民の科学教育の向上に資するため				
主な実施事業	(1)海洋科学に関する資料、機器及び装置を収集し、展示し、及び利用に供すること。 (2)海洋科学に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。 (3)展示する資料、機器及び装置に関する調査研究すること。 (4)学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (5)前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業				

### 2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	H30	目標	R1	目標	R2
a	利用者数	人	30,000	28,277	30,000	31,032	30,000	16,782
b	稼働率			94		103		56
c	受講者数							
d	参加者数							
e								

### 3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算
収入計	A	20,827,079	20,262,660	19,998,511
指定管理料		15,957,530	15,010,343	17,154,208
利用料収入	C	4,102,390	4,441,755	2,357,660
自主事業収入		767,159	810,562	462,643
その他		0	—	24,000
支出計	B	20,827,079	20,262,660	19,998,511
事業費		20,059,920	19,452,098	19,535,868
内、人件費	D	12,666,874	12,546,826	13,045,382
内、再委託料	E	2,510,810	2,570,070	2,476,374
自主事業費		767,159	810,562	462,643
事業収入	A-B	0	0	0
利用料比率	C/A	20 %	22 %	12 %
人件費率	D/B	61 %	62 %	65 %
再委託費比率	E/B	12 %	13 %	12 %

・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。  
 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
①サービスの履行	人員体制	事業計画に則し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		事業計画に則し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令順守	法令・条例等に基づき、必要な点検・報告を行っている。	B	B
	外部委託	外部委託に際し、適切に業者を選定し、業務指導を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する条例を順守し事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	【業務の実施体制】に関する評価】	B	B	
②サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に則し、必須事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	管理運営基準等に従い、施設の維持管理を適切に行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。		B	B	
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	各種提案事項について、市と協議し、検討を行っている。	B	B	
利用状況	利用者数等は、目標に対し妥当な水準である。	B	C	
総括	【業務の内容・水準】に関する評価】	B	B	
③安定性	経理事務	適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	B	B

<p>所見 (成果、課題等)</p>	<p>【自己評価】</p> <p>コロナウイルスの影響により入館者が激減したが、兵庫県の対処方針に基づく「マスクの着用・手指消毒・飛沫対策など」感染防止対策の実施、さらには抗菌抗ウイルス剤を塗布するなど安全対策を徹底し、施設の利用促進に努めている。</p> <p>また、施設・設備面に関しては、エレベーターが無いため入館者から不満の声が多く、早期の実施が必要である。</p>		
	<p>【所管評価】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館するなど、新型コロナウイルスの影響等により来館者数は大幅に減少している。新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、館の維持管理に努め、自然観察や科学実験等文化施設としての役割を果たし、塩を中心とした館のイメージアップに努めている。</p> <p>今後は来館者の安全確保に努めながら状況に応じて、日本遺産「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂について、塩の国とともに情報発信に努め、赤穂の魅力発信に努められたい。</p>		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。